

著者名： 朴 哲洙 (ぱく ちよるす Park, CheolSoo)

職 名： 熊本学園大学経済学部 教授

書 名： 『21世紀型新民富論』

副 題： 包容巨視経済社会と多様性に向けて

出版社： 晃洋書房

発行日： 2018年4月20日

サイズ： A5版

頁 数： 228頁

定 価： 3,000円＋税

ISBN： 978-4-7710-3032-9

目 次

はしがき

序 章 21世紀の豊かさと多様性をもつ社会への道

- 1 視座と問題設定—経済・社会問題に向かう政策レジーム—
- 2 本書の道のり
- 3 包括経済社会への道

第 I 部 経済活動領域の変遷と多様性

第 1 章 市場経済領域における議題と政策対応軸

—「政策レジーム」としての「経済民主化」論争—

- 1 市場経済領域における「経済民主化」の論議の背景
- 2 政策レジームと経済民主化議題の概念
- 3 分断社会・両極化の原因
- 4 格差経済・両極化社会の源流

第 2 章 政策レジームと理論的な観点

- 1 多様な理論と観点—4つの観点と2つの政策レジーム—
- 2 政策レジーム—対立・重複的な理論—
- 3 戦後の政策レジームにおける対立と葛藤
- 4 両立の観点
- 5 政策レジームの法制化と経済領域の多様化の議論

第 3 章 新経済領域の進化と制度構築

—社会的経済の再発見—

- 1 社会的経済の定義と意義
- 2 経済活動領域の変遷と巨視経済体制の生態系
- 3 社会的経済の進化発展と背景
- 4 政策形成の制度的基盤
- 5 政策シグナル抽出と実践

第 4 章 国際事例からみた社会的経済領域と政策スタンス

- 1 歴史的経緯と現代復活の意義
- 2 欧米：背景と事例
- 3 韓国：背景と事例
- 4 日本：背景と事例

第5章 政策的課題と政策レジーム・制度形成

- 1 経済成長と経済民主化の両立化のための政策議題
- 2 新政策議題と制度形成・実行
- 3 社会的ジレンマと参加型ガバナンスを巡る組織・制度
おわりに

第6章 多様な経済領域と制度発展分析アプローチ

—共有地から知識文化コモンズまで—

- 1 制度的調整—経済的調整と社会的調整—
- 2 多様性—社会経済における三層の経済領域—
- 3 制度分析・開発 IAD フレームワーク
- 4 新しいコモンズと参加型ガバナンス
- 5 論点と応用

第II部 金融資本と流動性の仕組み

—金融システムリスクと政策体系—

第7章 システムリスクとマクロ健全性

- 1 システムリスクとマクロ健全性プルーデンスの観点
- 2 システムリスクの測定
- 3 金融システム—金融会計フレームワーク観点—

第8章 マクロ健全性政策の体系と規制監督政策

- 1 システムリスクの発生要因と波及経路—金融仲介機関の連係性—
- 2 金融安定とマクロ健全性政策の基本体系
- 3 マクロ健全性規制監督の担い手と政策手法
- 4 マクロプルーデンス政策を巡る主要論点
- 5 政策的議論

第Ⅲ部 産業資本と企業貯蓄

—グローバル流動性と資金循環構造—

第9章 グローバル流動性と企業金融

- 1 グローバル流動性と調整
- 2 資金循環の構造とマクロ資金需給
- 3 グローバル流動性の構図
- 4 金融仲介システムとグローバル流動性

第10章 企業の金融行動

—マクロ市場領域における分配の金融構造の仕組み—

- 1 企業貯蓄の構造と決定要因
- 2 企業貯蓄と金融行動
- 3 国民貯蓄と企業投資

第Ⅳ部 文化資本と政策の公共・社会性

第11章 文化資本と文化コンテンツ産業

—経済・文化の融成と政策レジーム—

はじめに

- 1 文化政策の理論的考察
- 2 文化資本の概念と仕組み
- 3 文化知識資本論の拡張—消費行動と文化消費資本—
- 4 文化コンテンツ資源とクリエイティブ産業
- 5 文化政策の公共性・社会性

おわりに

参考文献

索引

内 容 紹 介

20 世紀に起きた著しい成長の末、市場経済は社会から逸脱してしまった。本書は、21 世紀の新しい「民富」への道である経済活動の多様性を模索する。市場と国家・政府の二分論に加え、社会的領域を再発見し、政策・制度の観点から金融資本、産業資本、文化資本の現状を見つめる。

戦後の東アジアの高度成長、その間、産業構造の変化、人口構造の変化、そしてグローバル化・デジタル化・金融化などのトレンドのシフトの中、経済における労働の担い手である「人々」を巡る経済的・社会的環境も変遷し、各々の役割・能力とニーズも共に変わりつつある。労働と資本の構造的連関性における重要な根源的要因としての「制度」と「政策」を、「政策レジーム」としてとらえる。

アジアの世紀となる可能性と挑戦に正面から向き合いながら、21 世紀の豊かさと経済活動領域の多様性を持つ社会を模索し、新しい「民富」への道を拓く試みとして、新局面へとダイナミックに変動しつつあるアジアの経済と社会の動向に注目したい。